

西讃に伝わる  
伝統工芸を未来へ

三宅人形店

---

百 歳 書 店

## 創業年

明治三十年 1897年

どのように始まったのか

仁尾は江戸時代より人形作りが盛んな土地柄で、関西方面より多くの人形師が移り住み、いろいろな人形が作られていました。当店も大阪から職人を集めて製造をしています。したが、その後人形師が大阪へ帰ったため、自ら製造をはじめ今日に至っています。

## 商品に対する想い

---

製造工程が手作りで、顔の表情一つ一つをとっても個々で異なります。いくつかの工程を踏みますので仕上がったのちに製品を出荷するときは、手塩にかけて娘を嫁に出すような感覚があります。

うれしかったこと

香川県より伝統工芸品に認定されたこと。

各地の催し物で多くの家庭で当店で製造した張り子虎を飾っていただいているのを見て、大事に保存されているのを感じたこと。

## 苦難

市松人形制作を辞めたこと。

得意先を確保するのに苦労したこと。

ひとつひとつ手作りのため大量生産の受注が難しくお断りしたこと。

続けてきたこと

---

すべての工程を手作りで行っています。

変えたこと

---

従来よりも小さい型を製造するようになりました。

## 今後の展望

---

節句人形だけでなく、縁起物として常に飾ってもらえるようにしたいです。令和4年は虎年なので頑張っていきたいと思います。

子供が健やかに育って欲しいと願いを込めて製造しています。

百歳書店さんにお世話になることができありがとうございます。